

中小企業景況調査報告書

(第 113 回)

平成21年 1 ~ 3 月期 実 績

平成21年 4 ~ 6 月期 見通し

平成21年 4 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成21年3月
- (2) 調査対象期間 平成21年1～3月期実績及び平成21年4～6月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

商工会議所の景気判断

道内各地商工会議所が相談指導業務等を通じて得られる地域の特徴的事例

「製造業」「建設業」「卸売業」「小売業」「サービス業」の各業界組合・企業が肌で感じる生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施（中小企業景況調査）
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施（業界動向調査）

4. 業種別・規模別回答状況（社数）

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	42	57	49	68	58	274
中規模	15	12	29	20	32	108
合計	57	69	78	88	90	382
構成比(%)	14.9	18.1	20.4	23.0	23.6	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業11社、建設業14社、卸売業4社、
小売業15社、サービス業27社、合計71社

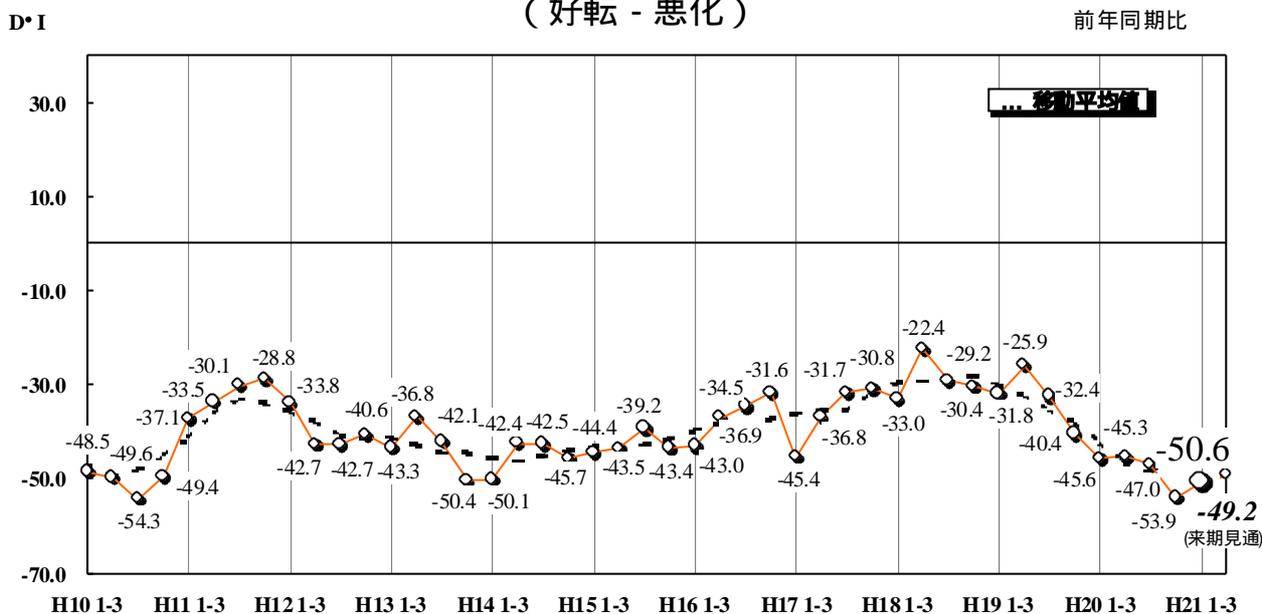
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

ホームページ：URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 業況は依然最悪の水準、採算割れ企業さらに増加 -

業況推移(全業種平均D・I)
(好転 - 悪化)



今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期(1月～3月期)の全業種平均D・I値(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、前期比(平成20年10月～12月期の水準と比較した今期の業況)では 52.4、前年同期比(平成20年1月～3月期の水準と比較した今期の業況)では 50.6と、依然最悪の水準が続いている。

前回の調査(平成20年10月～12月期)時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 53.9 今回 50.6と3.3ポイントマイナス幅を若干縮小しているものの、前期比では前回 44.0 今回 52.4と8.4ポイントマイナス幅を大幅に拡大するという結果となった。

採算D・Iの今期の水準においては、赤字と回答した企業が増加し、38.7と調査開始(昭和55年12月)後の最悪値を記録した。

業種別では、前年同期比で製造 42.2、建設 54.4、卸売 54.5、小売 53.3、サービス 48.4となり、製造業・建設業・サービス業でマイナス幅が多少縮小しているものの、卸売業・小売業ではマイナス幅が拡大した。

業況を札幌市とそれ以外の地域で見ると、業況D・Iは前年同期比で札幌市 52.4（前回調査 50.3）、札幌以外の地域 48.9（前回調査 57.7）となっており、札幌以外の地域では多少縮小しているものの、札幌市でマイナスの幅が大きくなっている。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成20年4月～6月期の水準と比較した来期の見通し）では 49.2と、業況は引き続き悪化の見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」（製造業49.0%、建設業50.6%、卸売業57.6%、小売業42.9%、サービス業37.5%）が大きな要因となっている他、製造業では「原材料価格の上昇」（24.5%）、建設業では「請負単価の低下・上昇難」（17.9%）、卸売業では「販売単価の低下・上昇難」（15.6%）、小売業では「大型・中型店進出競争の激化」（15.5%）、サービス業では「大型・中型店進出競争の激化」（15.5%）などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で9.5%と、前回調査時（12.1%）より2.6%低下、来期新規設備を投入する予定と回答した企業は全業種平均で11.0%と、依然、慎重な動きが続いている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値（前年同期比） 42.2（来期見通し 41.2）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年10月～12月期）時点からの推移では、前回 54.2 今回 42.2と12.0ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、業況が縮小したとの声も一部にはあるが、依然「原材料・資材の高騰」による採算の悪化の声が多い。

〔主なコメント〕

- ・原材料仕入れ価格の値下げと販売価格の値下げとのタイムラグにより一次的に業況は好転した。（製造業）
- ・年末年始の需要は比較的堅調で、地域内での受注も少し増加するため、前年比では増加する見通し。（製造業）
- ・輸出、国内市場共に急激に冷え込んでおり、工場の生産ラインの休止を行う等、生産計画に危機的な影響を及ぼしている。（紙・パルプ製造業）

【建設業】 [業況D・I値（前年同期比） 54.4（来期見通し 48.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成20年10月～12月期）時点からの推移では、前回 63.3 今回 54.4と8.9ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「公共工事や新築工事の減少」による売上の低下を訴える声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・公共工事の縮減による収入減に加え、競争入札制度で適正利益を確保できない状況を招いている。（建設業）
- ・大手企業の倒産により、手形の連鎖などが危惧されている。（建設業）
- ・従業員の削減や雇用形態の外注移行等、固定費用の圧縮を実施している。（建設業）
- ・公共工事の減少により、下請けは厳しい状況、どこも受注の確保に非常に苦慮している。

（土木工事業）

【卸売業】 [業況D・I値(前年同期比) 54.5(来期見通 52.7)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成20年10月~12月期)時点からの推移では、前回 40.2 今回 54.5と14.3ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「他業種の廃業の影響」により収益が減少したとの声が多い。

〔主なコメント〕

- ・地元小売店の閉店により売上が減少した。一方、諸経費は依然増加しており、厳しい状況が続いている。(卸売業)
- ・飲食業の不振により代金回収が難しくなり売上が低迷した。年明けより特に悪化が目立つ。

(酒卸売業)

【小売業】 [業況D・I値(前年同期比) 53.3(来期見通 49.3)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成20年10月~12月期)時点からの推移では、前回 50.1 今回 53.3と3.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「大型店の影響」等による購買力の流出や、「個人消費の低迷」などによる売上の減少を訴える声が目立った。

〔主なコメント〕

- ・消費者の購買意欲の低下から、これまで低迷してきた売上がさらに悪化し、刻一刻を争う厳しい状況となっている。(小売業)
- ・暖冬により除雪用品、防寒用品、冬季カー用品が不調。春物商品の前倒しも期待されたが天候不順の影響で吸収不能となった。(小売業)
- ・個人消費の低迷から、売上の減少が目立つ。市全体としては定額給付金支給に向けた市内消費拡大セールを計画しており、経済効果に期待している。(商店街)
- ・競合が多い中、新車及び中古車ともに売れ行きが低迷し、厳しい状況にある。現状では打つ手がない。(自動車小売業)

【サービス業】 [業況D・I値(前年同期比) 48.4(来期見通 54.5)]

業況D・I値(前年同期比)の前回の調査(平成20年10月~12月期)時点からの推移では、前回 65.1 今回 48.4と16.5ポイントマイナス幅が縮小した。

業界組合・企業よりのコメントでは、「利用客の減少」に加え「需要の停滞」による採算・業況悪化の声が多く寄せられている一方で、高速道路の値下げによる利用者の増加に期待を寄せる声も見られた。

〔主なコメント〕

- ・原油価格が下降し、しばらく安定しているため利益率は正常な数値に戻つつあるが、相変わらず物流が停滞しており、根本的な解決策が見当たらない。(運輸業)
- ・不況の影響で客の来店回数が減っており、客離れの懸念から料金の値上げができない。

(美容サービス業)

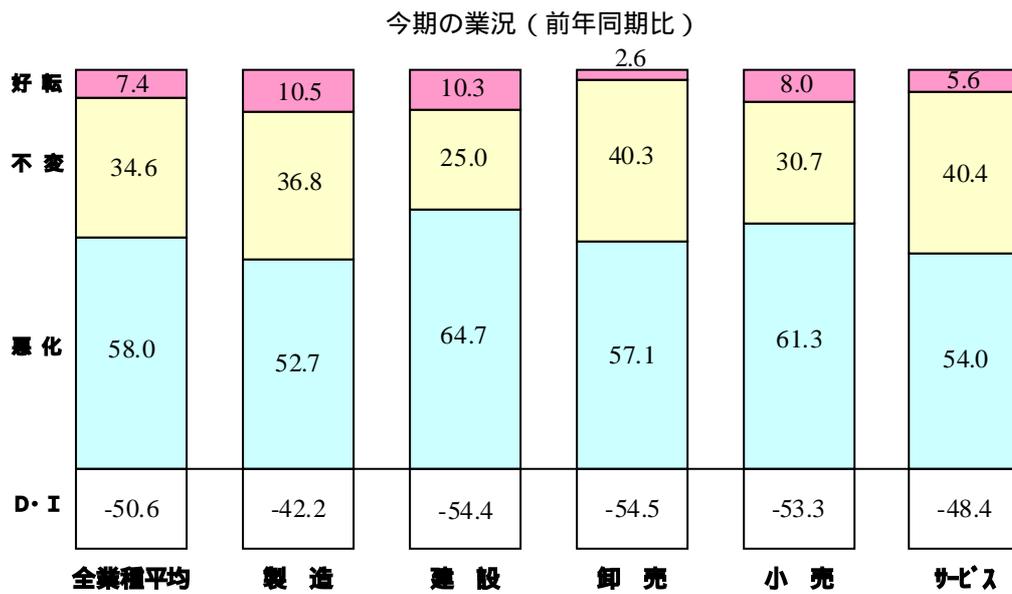
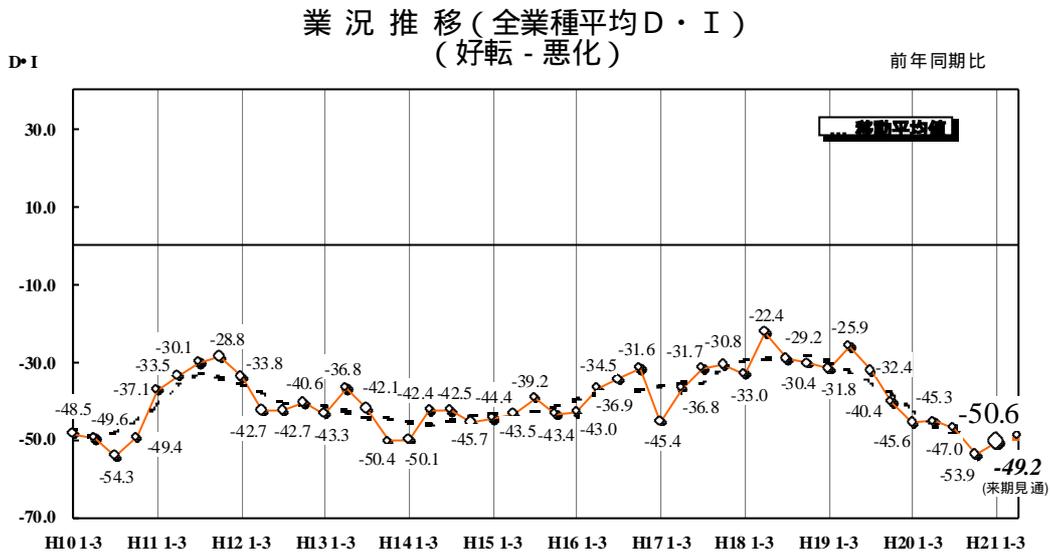
- ・売上高では、1月から3月合計で前年比約80%と不調。4月以降は高速道路料金の値下げ及びガソリン価格の安定等による、小旅行の増加の期待もあるが、不況の中見通しは不透明。

(観光サービス業)

1. 今期の業況

(1) 今期の業況

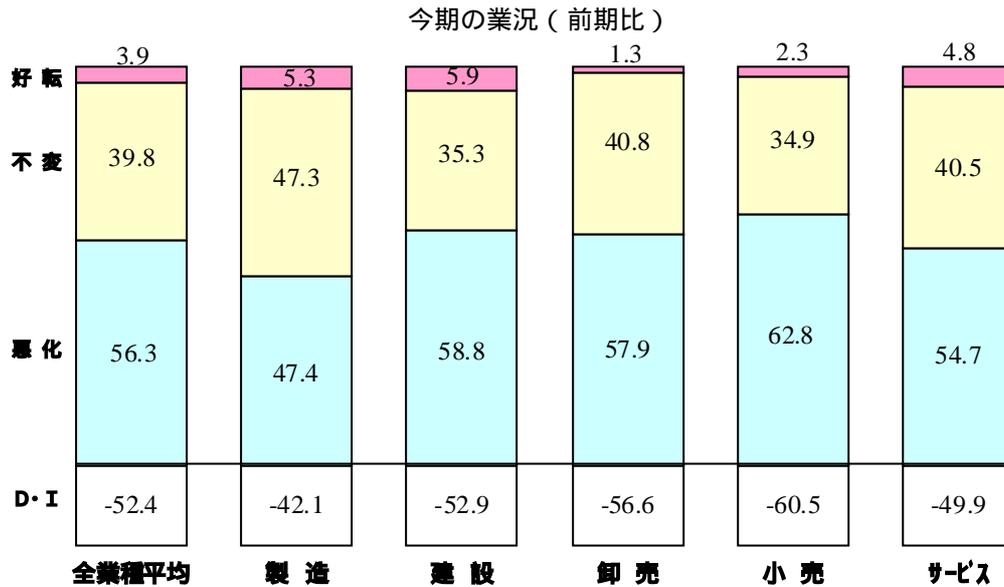
【前年同期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **50.6**〔前回調査時（平成20年10～12月期 53.9）より3.3ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 54.2 42.2〕、建設〔前回 63.3 54.4〕
卸売〔前回 40.2 54.5〕、小売〔前回 50.1 53.3〕
サービス〔前回 61.5 48.4〕

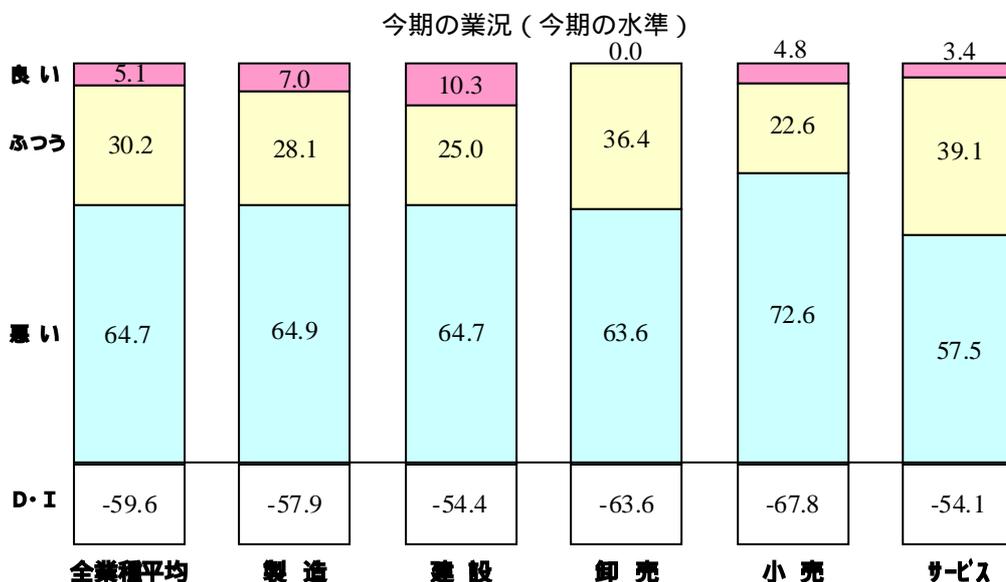
【前期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **52.4**〔前回調査時（平成20年10～12月期 44.0）より8.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 36.3 42.1〕、建設〔前回 50.0 52.9〕
 卸売〔前回 30.2 56.6〕、小売〔前回 44.7 60.5〕
 サービス〔前回 58.9 49.9〕

【今期の水準】

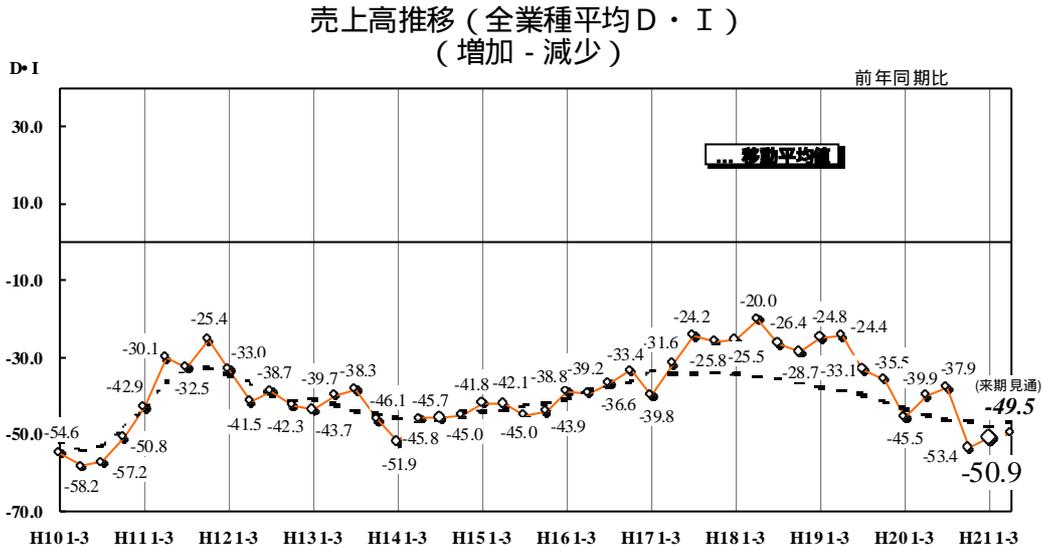


全業種平均でD・I値 **59.6**〔前回調査時（平成20年10～12月期 59.2）より0.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

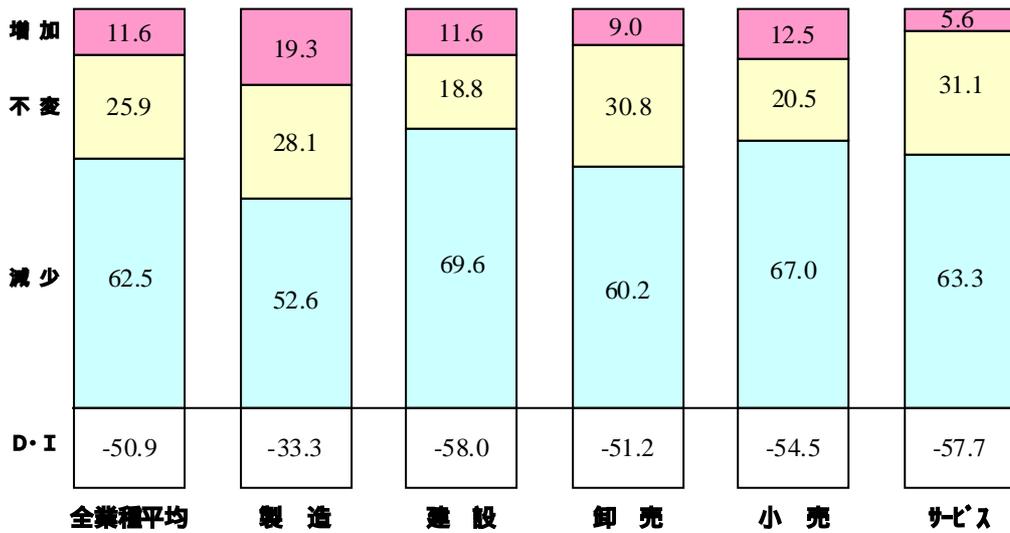
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 51.8 57.9〕、建設〔前回 69.2 54.4〕
 卸売〔前回 50.6 63.6〕、小売〔前回 59.9 67.8〕
 サービス〔前回 64.5 54.1〕

(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した今期の売上高）



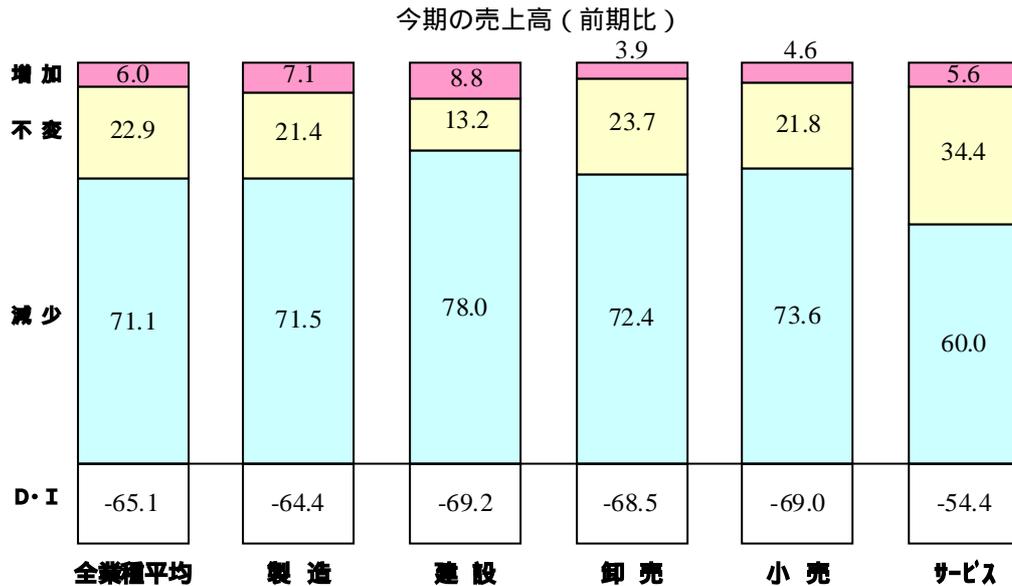
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **50.9**〔前回調査時（平成20年10～12月期 53.4）より2.5ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 49.1 33.3〕、建設〔前回 70.1 58.0〕
卸売〔前回 42.4 51.2〕、小売〔前回 49.9 54.5〕
サービス〔前回 55.4 57.7〕

【前期比】（平成20年10～12月期の水準と比較した今期の売上高）

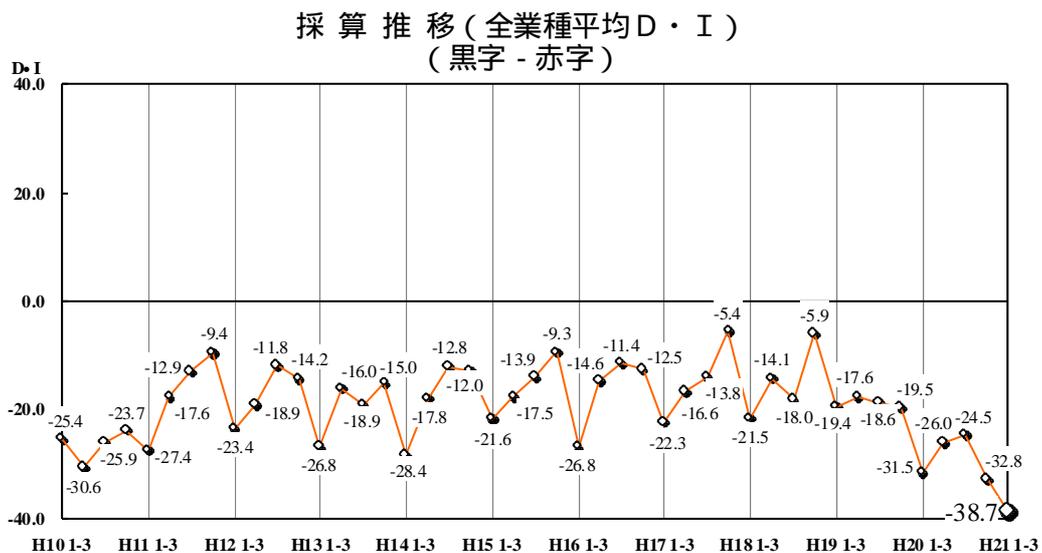


全業種平均でD・I値 **65.1**〔前回調査時（平成20年10～12月期 35.7）より29.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

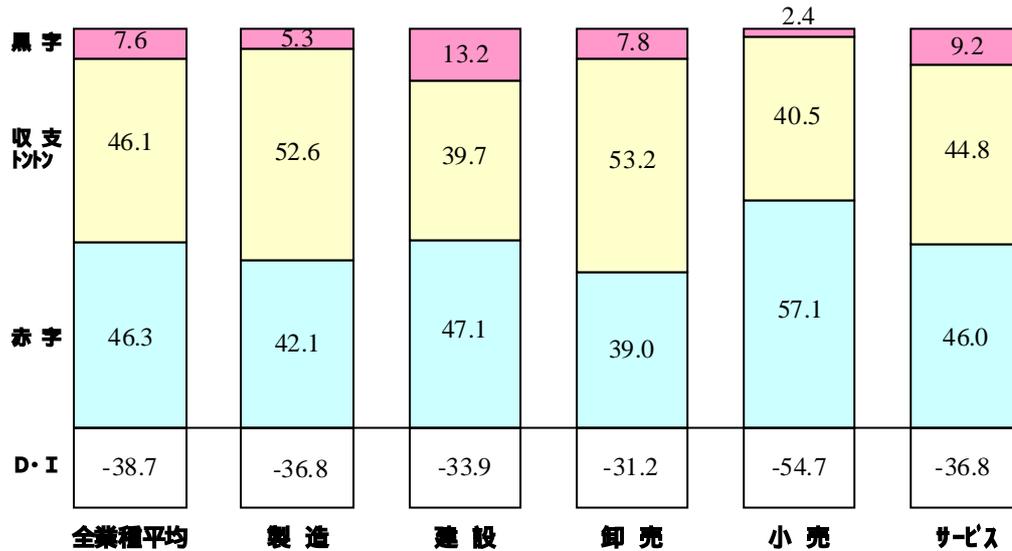
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 23.8 64.4〕、建設〔前回 51.4 69.2〕
 卸売〔前回 6.4 68.5〕、小売〔前回 42.1 69.0〕
 サービス〔前回 54.4 54.4〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



今期の採算（今期の水準）

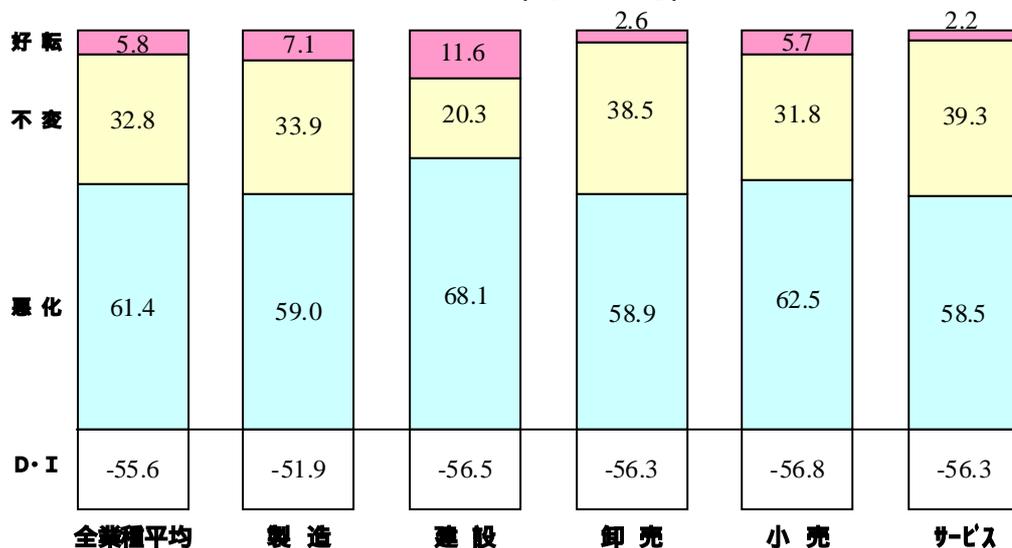


全業種平均でD・I値 **38.7**〔前回調査時（平成20年10～12月期 32.8）より5.9ポイントマイナス幅が拡大〕。（本調査開始（昭和55年12月）後、最悪値）

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 25.9 36.8〕、建設〔前回 42.7 33.9〕
卸売〔前回 15.1 31.2〕、小売〔前回 39.1 54.7〕
サービス〔前回 41.1 36.8〕

【前年同期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）

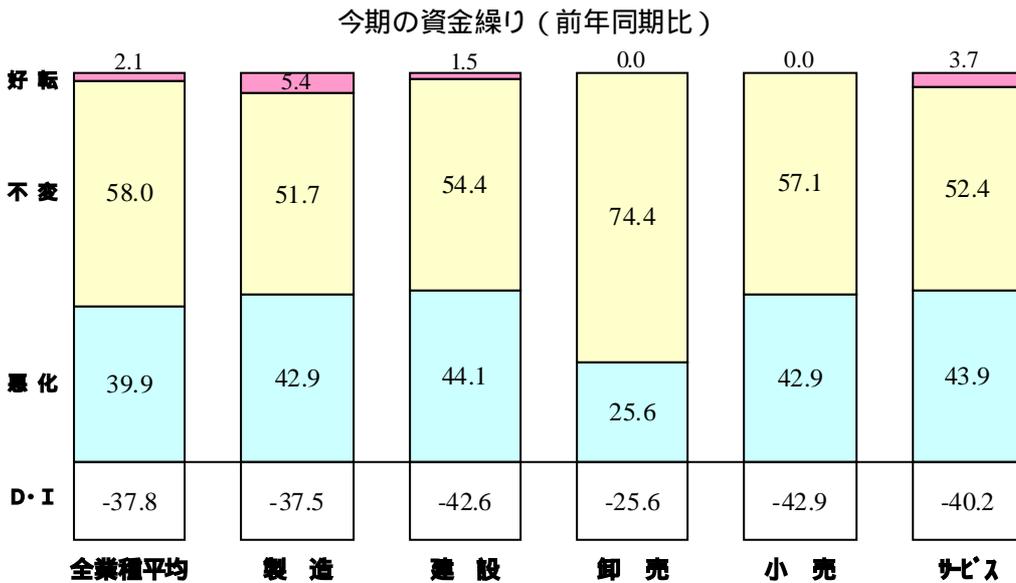
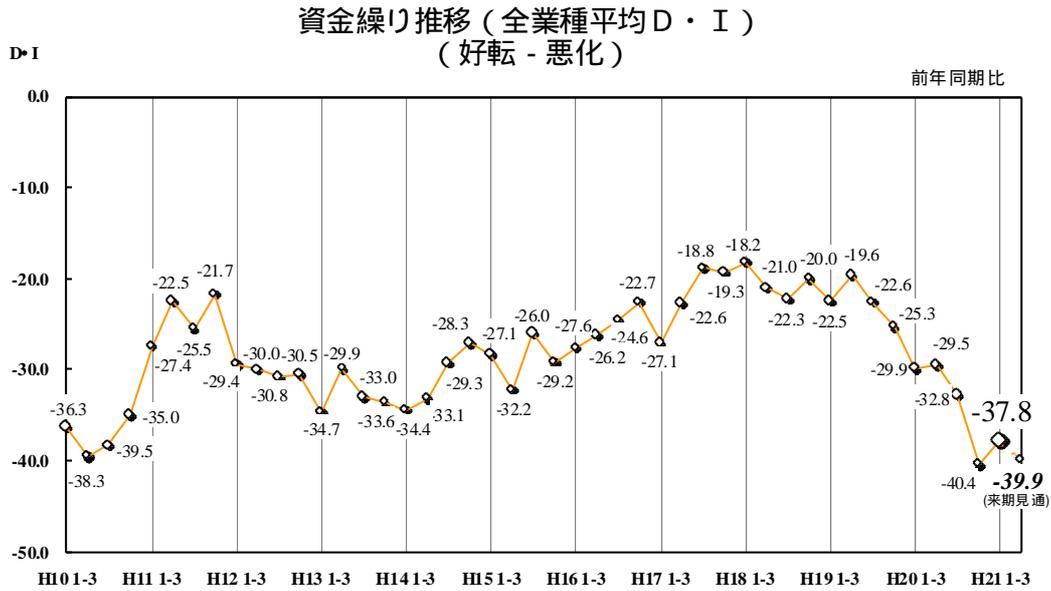


全業種平均でD・I値 **55.6**〔前回調査時（平成20年10～12月期 52.6）より3.0ポイントマイナス幅が縮小〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 43.1 51.9〕、建設〔前回 69.1 56.5〕
卸売〔前回 37.2 56.3〕、小売〔前回 51.7 56.8〕
サービス〔前回 61.9 56.3〕

(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成20年1～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）



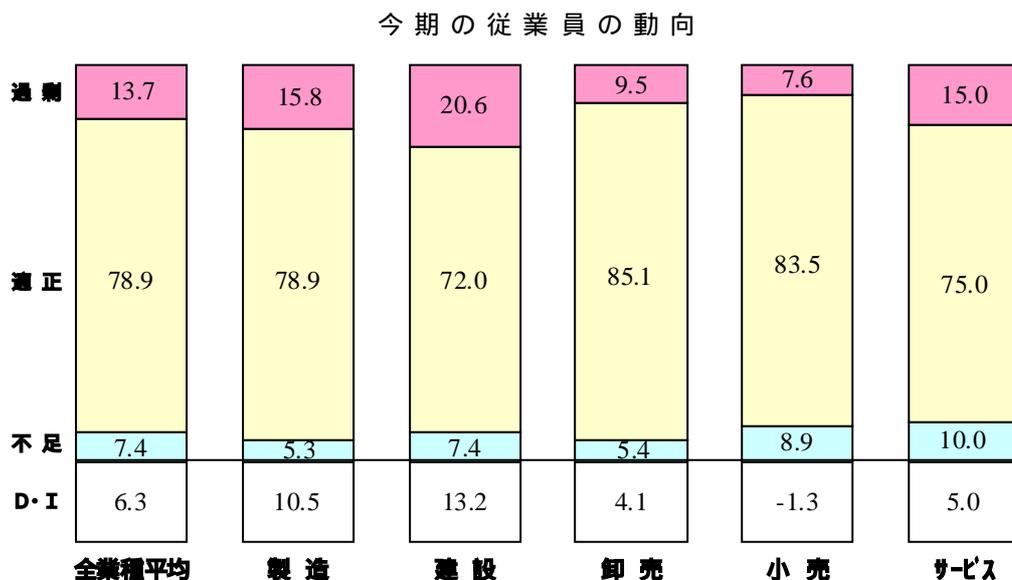
全業種平均でD・I値 **37.8**〔前回調査時（平成20年10～12月期 40.4）より2.6ポイントマイナス幅が縮小〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が若干縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 37.3 37.5〕、建設〔前回 50.7 42.6〕
卸売〔前回 28.0 25.6〕、小売〔前回 38.7 42.9〕
サービス〔前回 47.7 40.2〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(49.0%) [前回 35.2%]
	「原材料価格の上昇」	(24.5%) [前回 40.5%]
	「製品(加工)単価の低下・上昇難」	(11.3%) [前回 13.0%]
建設業	「民間需要の停滞」	(29.7%) [前回 21.2%]
	「官公需要の停滞」	(20.9%) [前回 29.0%]
	「請負単価の低下・上昇難」	(17.9%) [前回 24.2%]
卸売業	「需要の停滞」	(57.6%) [前回 54.5%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(14.9%) [前回 7.8%]
	「代金回収の悪化」	(4.1%) [前回 5.2%]
小売業	「需要の停滞」	(42.9%) [前回 32.5%]
	「大型・中型店進出競争の激化」	(15.5%) [前回 15.1%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(11.9%) [前回 10.5%]
サービス業	「需要の停滞」	(37.5%) [前回 39.2%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(14.5%) [前回 11.9%]
	「大企業の進出による競争の激化」	(9.6%) [前回 8.3%]

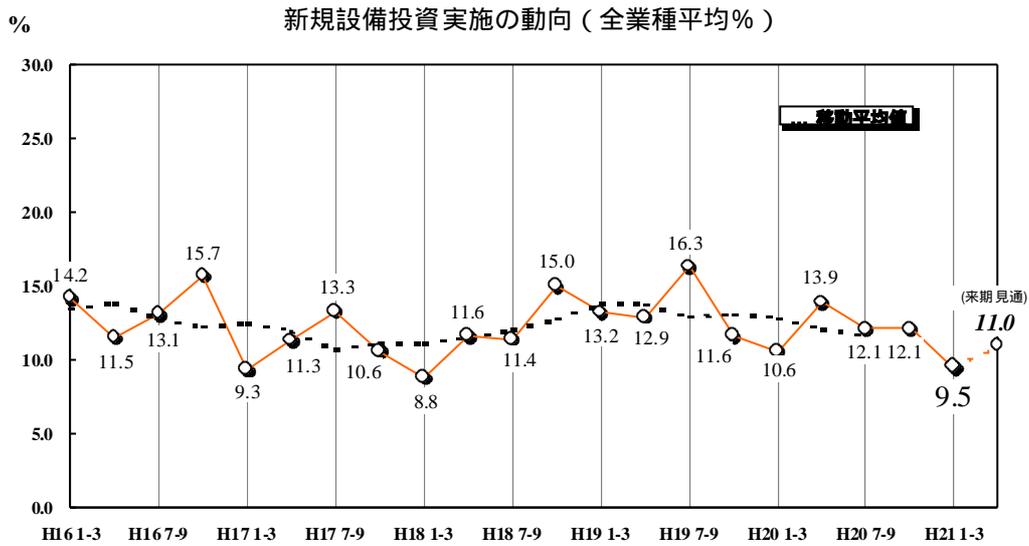
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では6.3〔前回調査時（平成20年10～12月期1.5）〕と、前回調査時に比べ「过剩」と回答する企業が増加傾向にあるが、依然「適正」（78.9%）とする企業が大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回12.2 10.5〕（適正78.9%）
 建設〔前回 1.5 13.2〕（適正72.0%）
 卸売〔前回 1.3 4.1〕（適正85.1%）
 小売〔前回 2.4 1.3〕（適正83.5%）
 サービス〔前回 2.4 5.0〕（適正75.0%）

(7) 今期の新規設備投資



今期の新規設備投資の動向

（単位％）

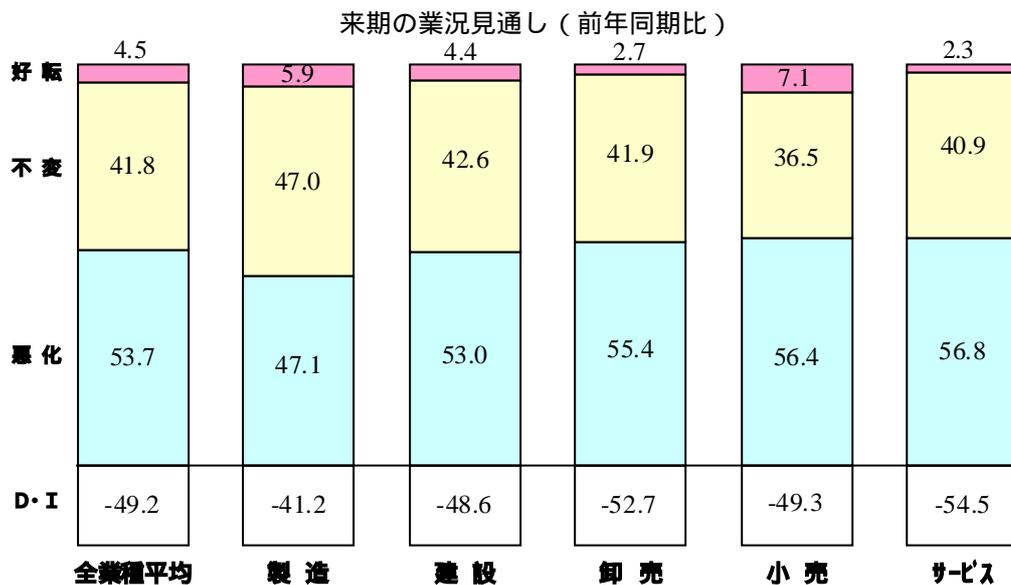
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	14.0	10.1	6.8	4.5	12.2	9.5
土地	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	1.8
工場建物、建物、店舗	12.5	14.3	20.0	25.0	18.2	18.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	0.0	20.0	0.0	18.2	17.6
車両運搬具	37.5	14.3	20.0	75.0	27.3	34.8
倉庫・駐車場等の付帯施設	12.5	14.3	0.0	0.0	18.2	9.0
O A 機器	12.5	71.4	40.0	0.0	18.2	28.4
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	12.5	0.0	0.0	0.0	9.1	4.3
実施していない	86.0	89.9	93.2	95.5	87.8	90.5

新たに設備投資を実施した企業は平均で**9.5%**〔前回調査時（平成20年10～12月期12.1%）〕、業種別では製造〔前回11.9% 14.0%〕、建設〔前回10.4% 10.1%〕、卸売〔前回15.2% 6.8%〕、小売〔前回8.9% 4.5%〕、サービス〔前回14.1% 12.2%〕と、製造業を除く4業種で前回調査時の水準を下回った。

2. 来期の見通し

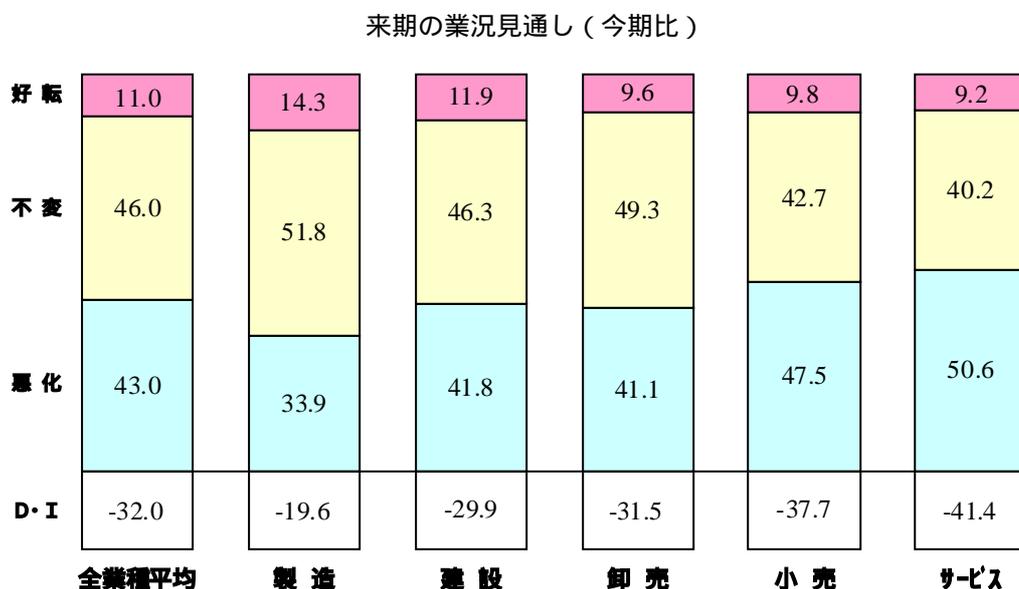
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **49.2**〔今期の業況（前年同期比 48.8）より0.4ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

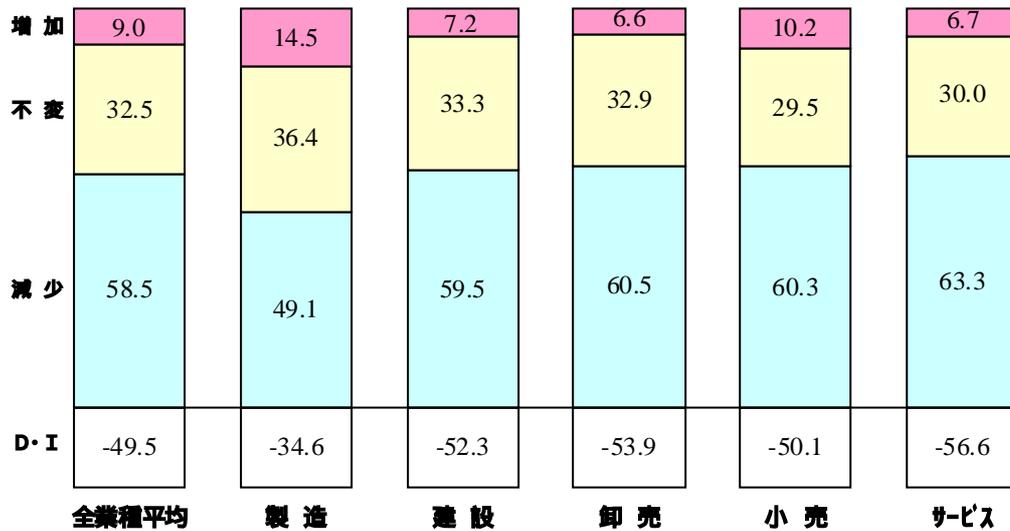
【今期比】（平成21年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

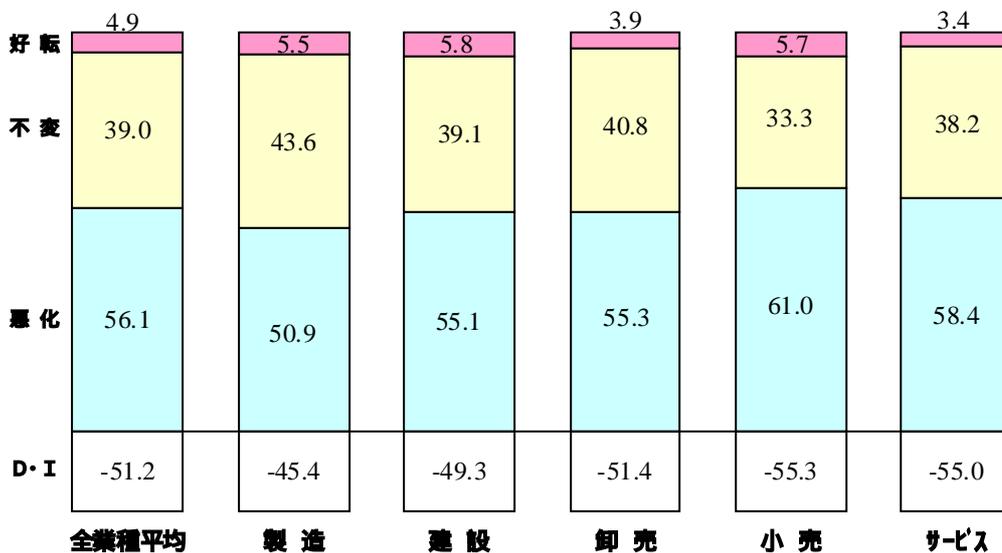


全業種平均でD・I値 49.5〔今期の売上高（前年同期比 49.4）より0.1ポイントマイナス幅が拡大する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成20年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 51.2〔今期の採算（前年同期比 55.6）より4.4ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

来期の新規設備投資の動向

(単位%)

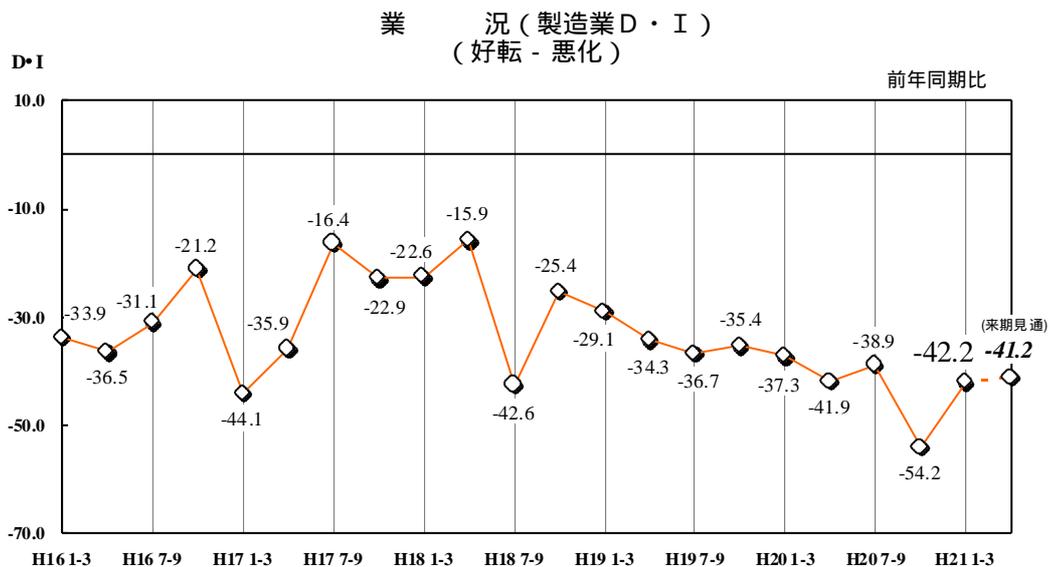
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	14.0	4.3	9.6	11.5	15.6	11.0
土地	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	2.0
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	28.6	20.0	0.0	9.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	87.5	0.0	14.3	30.0	28.6	32.1
車両運搬具	0.0	0.0	42.9	10.0	14.3	13.4
倉庫・駐車場等の付帯施設	25.0	33.3	14.3	20.0	0.0	18.5
O A 機器	0.0	66.7	28.6	30.0	50.0	35.1
厚生施設	0.0	0.0	0.0	10.0	7.1	3.4
その他	0.0	0.0	0.0	30.0	21.4	10.3
実施しない	86.0	95.7	90.4	88.5	84.4	89.0

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**11.0%**となっており、今期(9.5%)を上回る見通し。

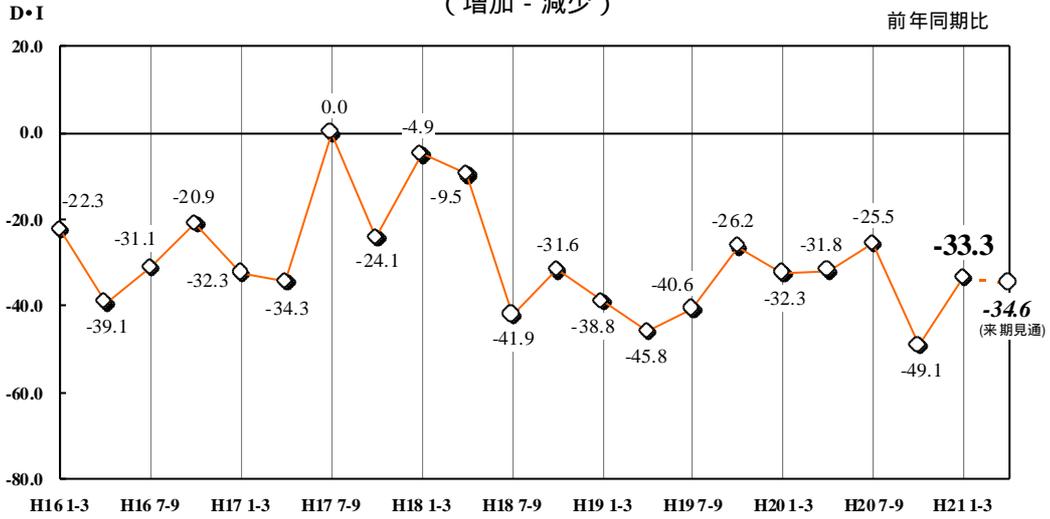
業種別では、製造〔今期10.1% 14.0%〕、建設〔今期10.1% 4.3%〕、卸売〔今期6.8% 9.6%〕、小売〔今期4.5% 11.5%〕、サービス〔今期12.2% 15.6%〕となっている。

業種別の動向

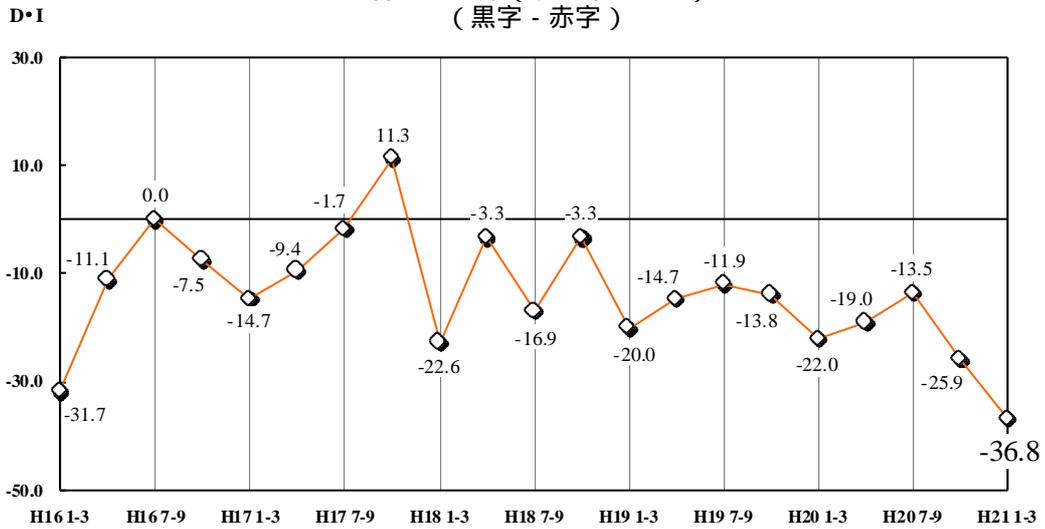
(1) 製造業



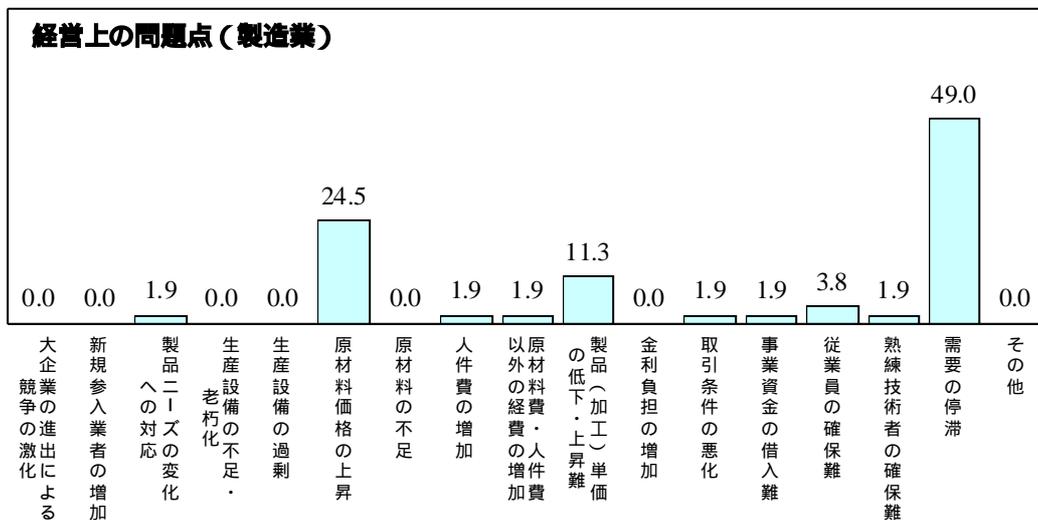
売上高（製造業D・I）
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）
（黒字 - 赤字）



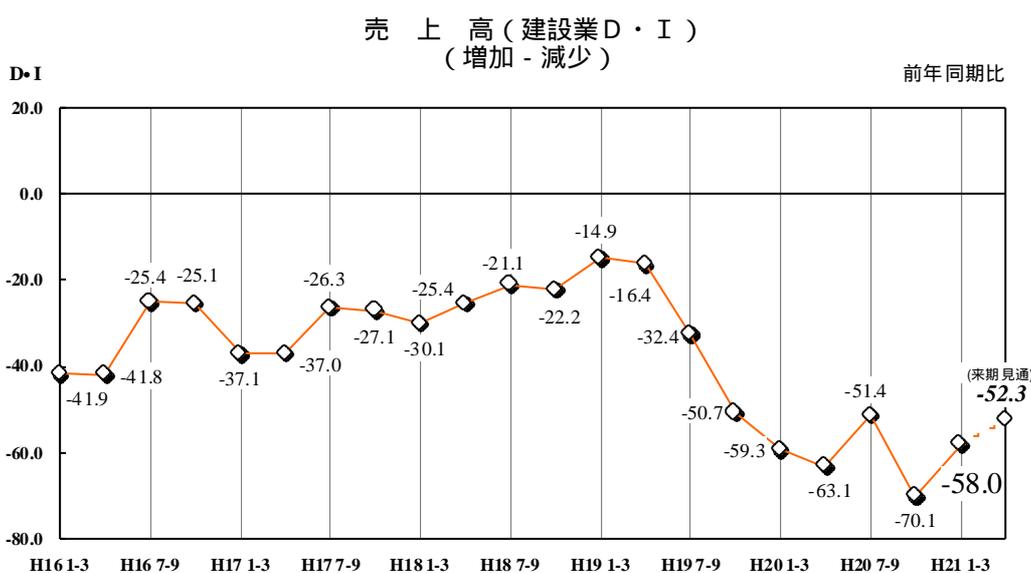
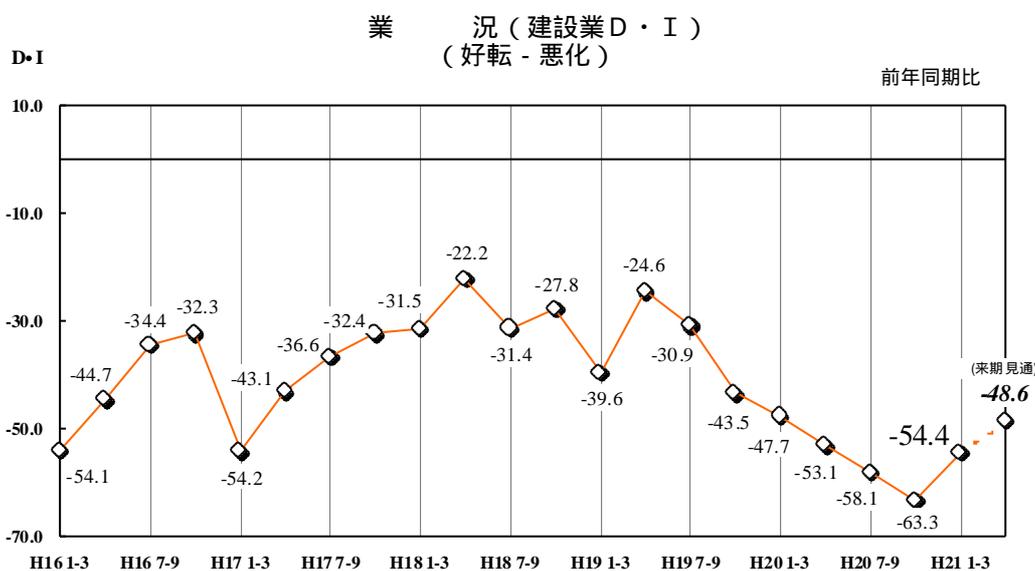
経営上の問題点



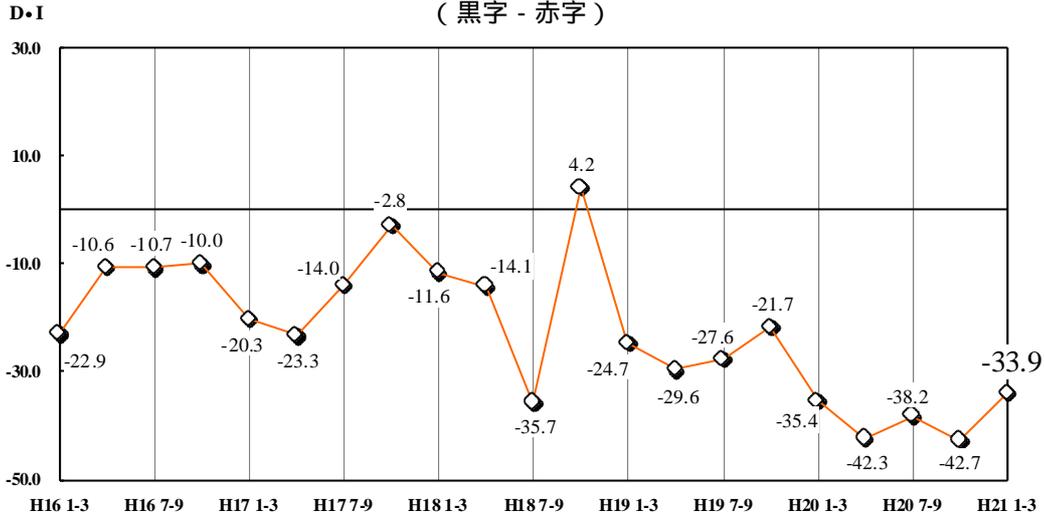
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	37.5	41.8	35.8 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	3.9	11.7 (今期比)
短期 "	-----	2.1	8.1 (今期比)
設 備 操 業 率	32.1	-----	27.5 (前年同期比)

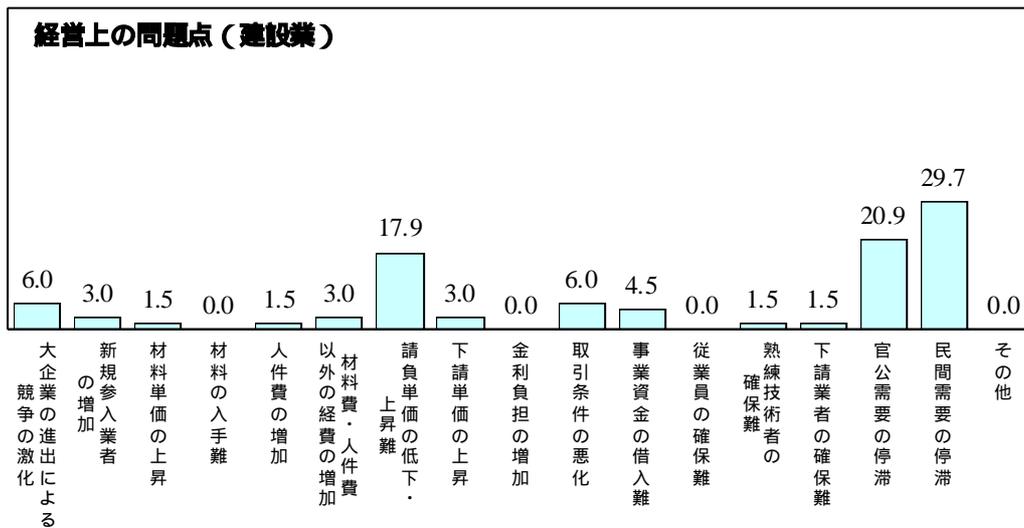
(2) 建 設 業



採 算 (建設業 D・I)
(黒字 - 赤字)



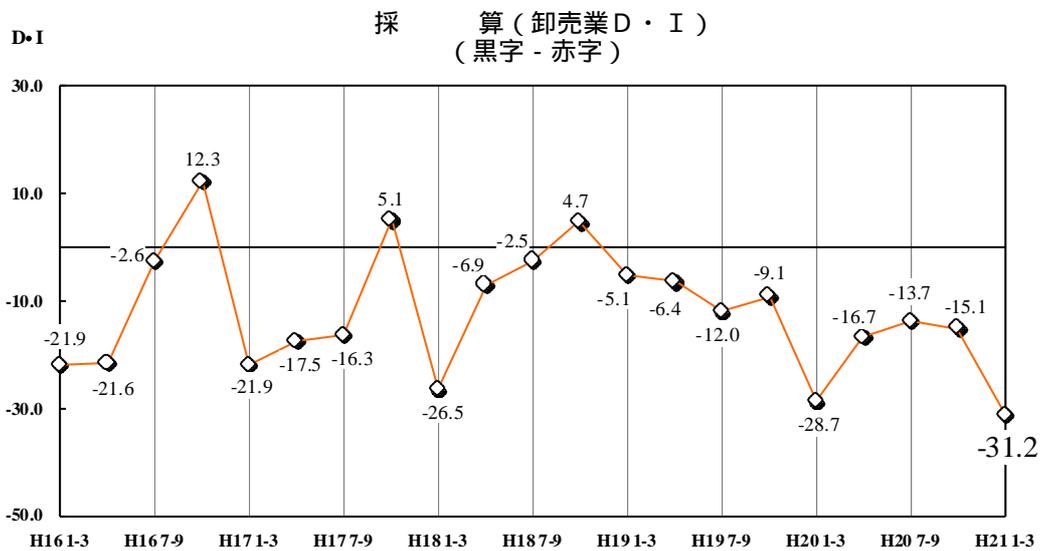
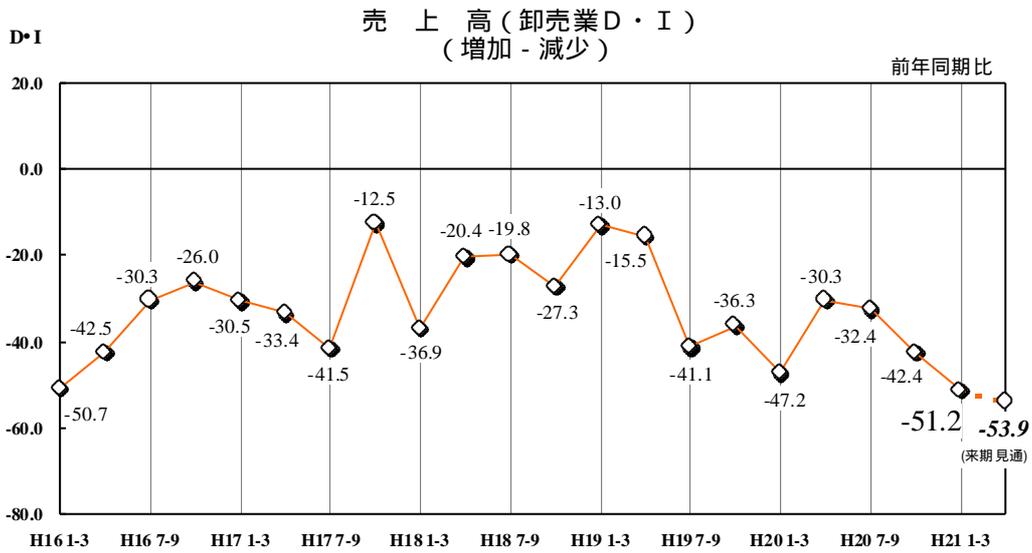
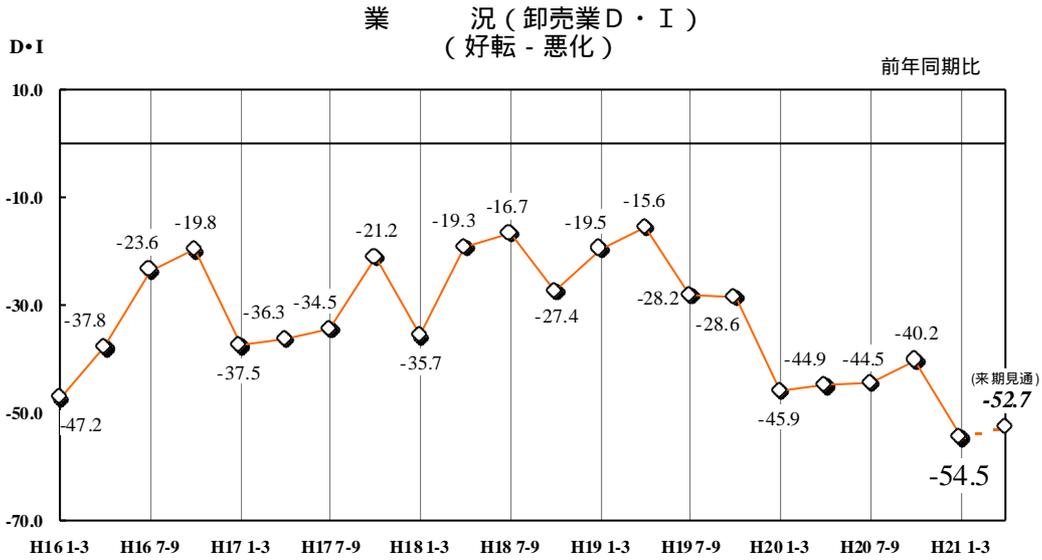
経営上の問題点



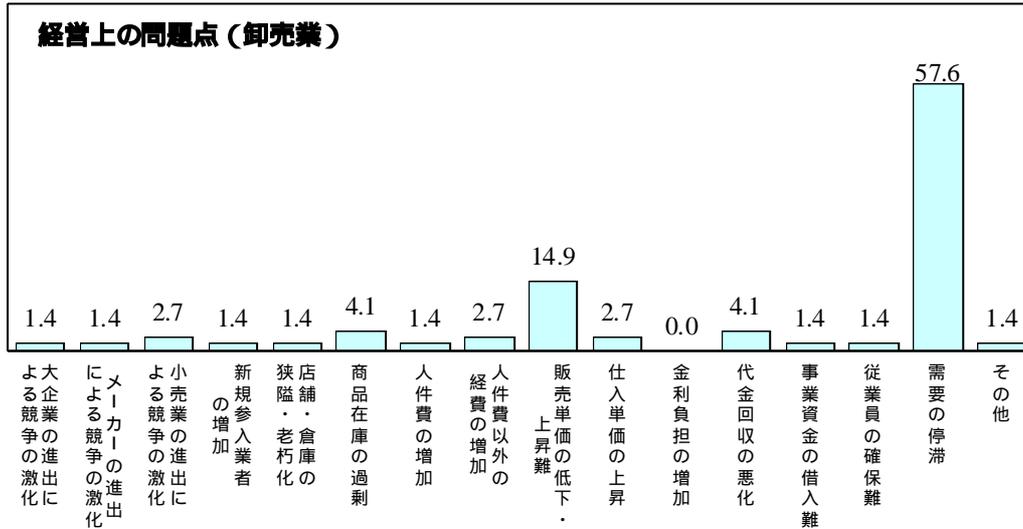
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資金繰り	42.6	50.7	47.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	14.5	19.3 (今期比)
短期 "	-----	13.5	15.0 (今期比)
受注(新規契約工事)額	56.6	-----	50.8 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



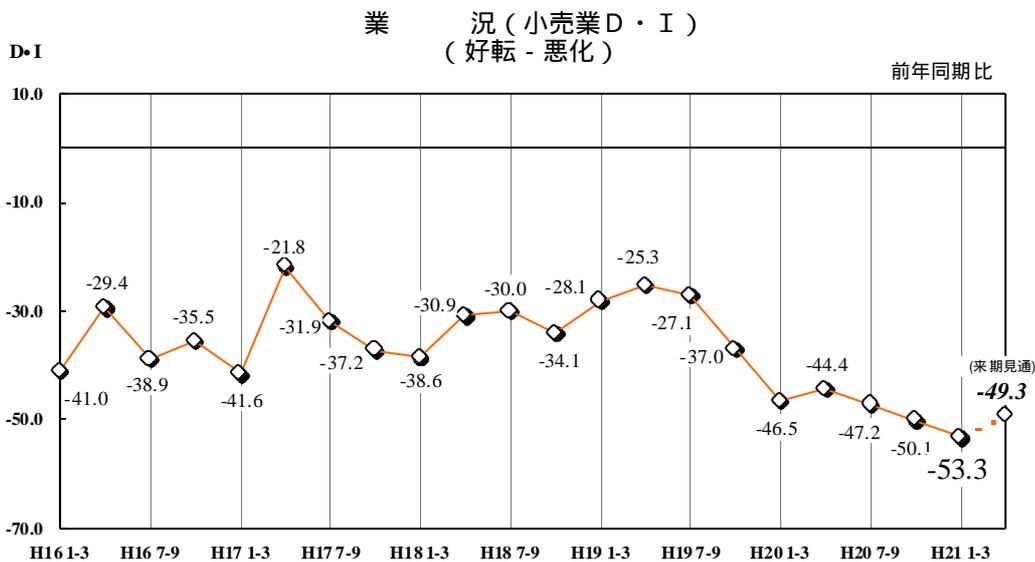
経営上の問題点

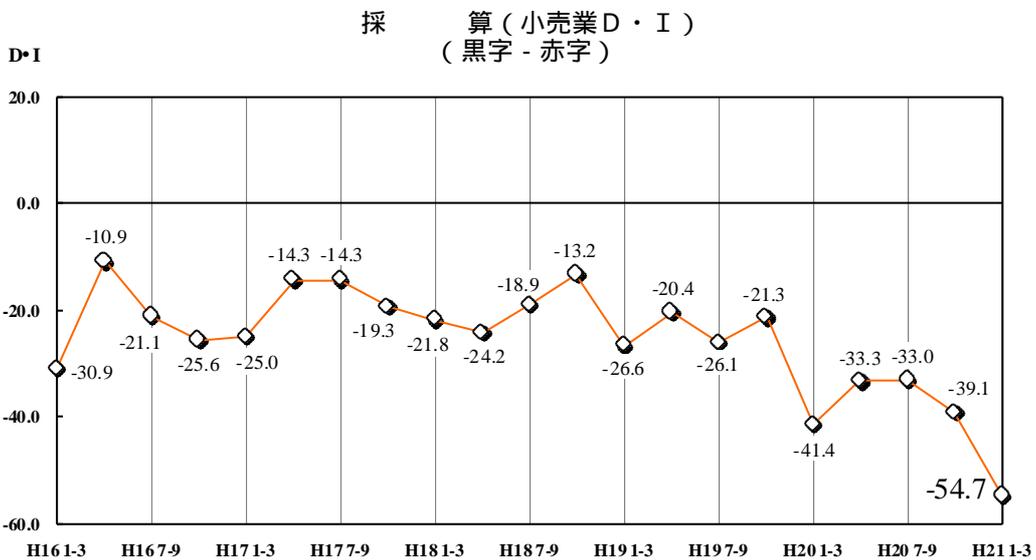
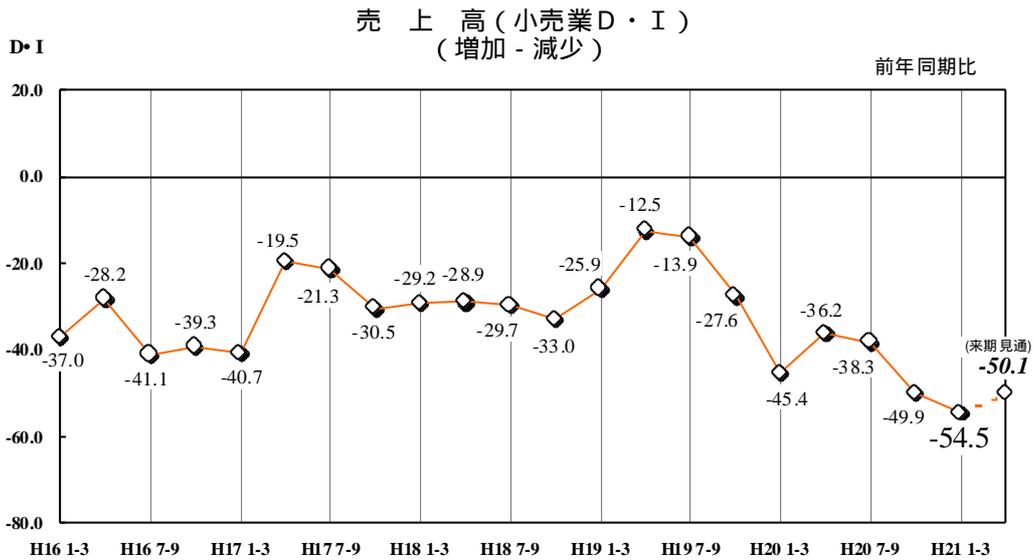


その他（D・I値）

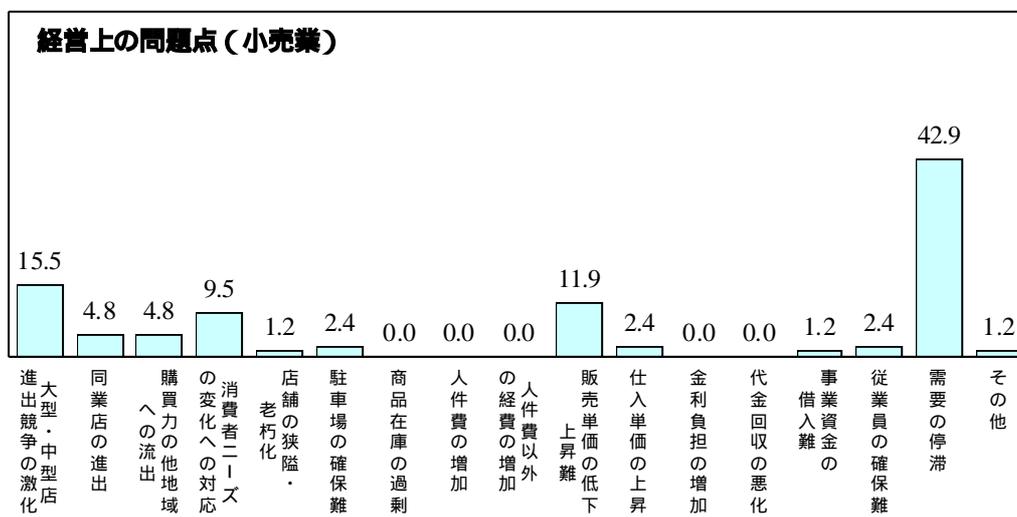
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	25.6	28.6	31.2 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	14.1	17.1 (今期比)
短期 "	-----	4.3	5.7 (今期比)
商品在庫数量	29.5	-----	31.2 (前年同期比)

(4) 小 売 業





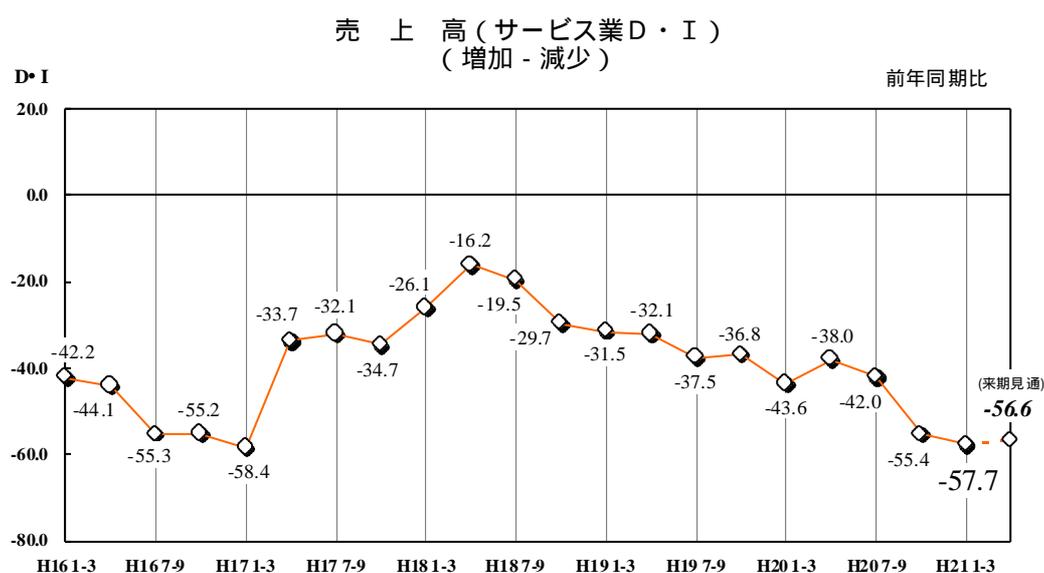
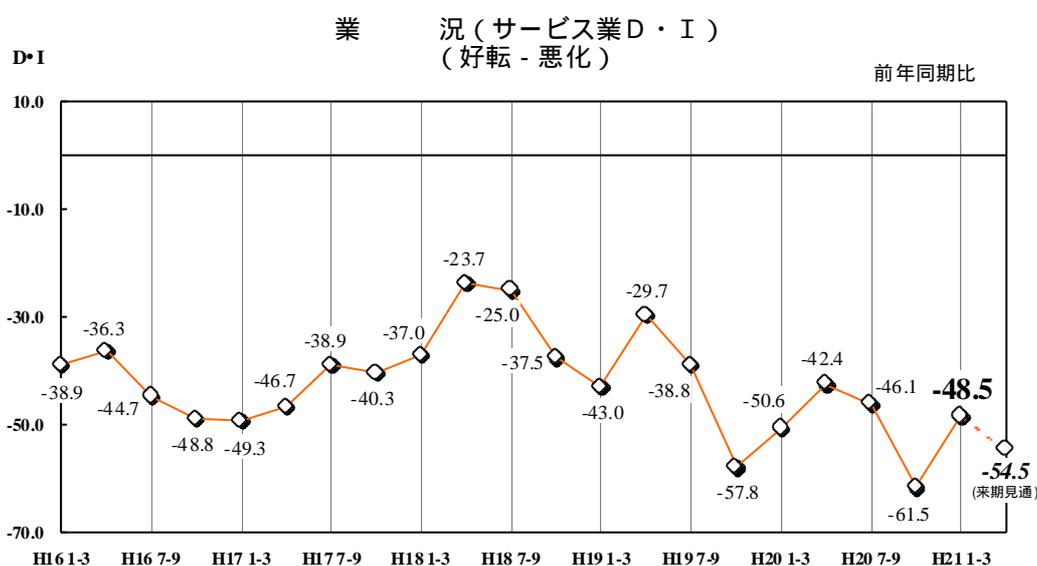
経営上の問題点

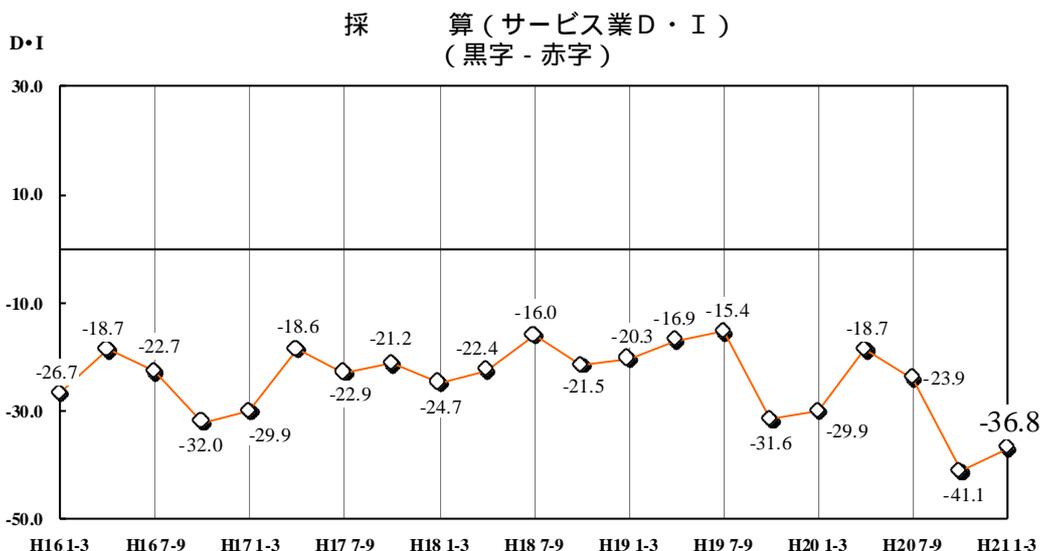


その他 (D・I値)

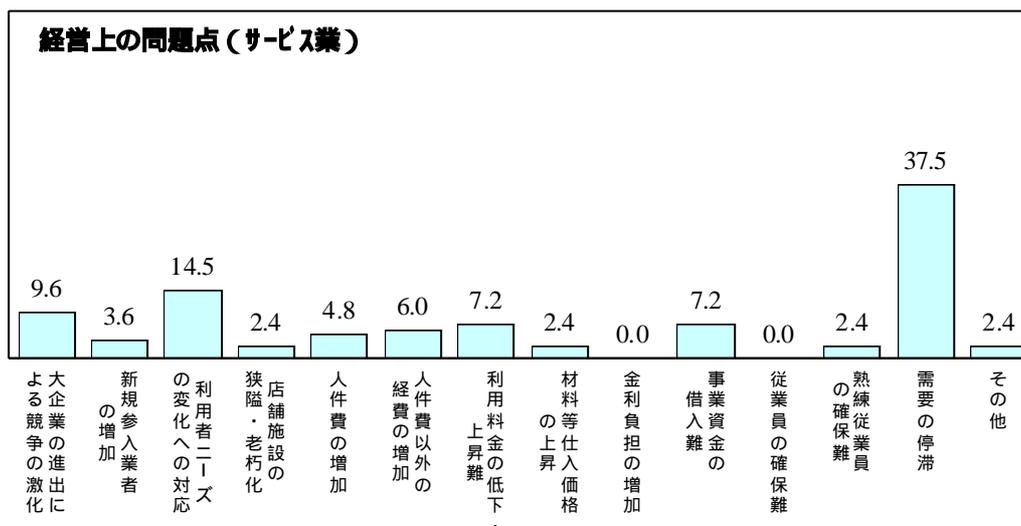
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	42.9	47.6	44.0 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	22.4	13.7 (今期比)
短期 "	-----	12.9	6.5 (今期比)
商品在庫数量	32.2	-----	30.2 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	40.2	37.8	41.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	29.1	32.5 (今期比)
短期 "	-----	29.6	32.4 (今期比)
利 用 客 数	50.0	46.0	53.0 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成21年 1月～ 3月)の水準			
	↗	↘	↖	D・I
業 況 (自 社)	7.0	28.1	64.9	-57.9
生産に対する原材料在庫	9.4	84.9	5.7	3.7
売上に対する製品在庫	8.3	83.4	8.3	0.0
採 算 (経常利益)	5.3	52.6	42.1	-36.8
引 合 計	8.9	32.1	59.0	-50.1
生 産 設 備	14.5	76.4	9.1	5.4
従 業 員 (含臨時・パート)	15.8	78.9	5.3	10.5

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成20年10月～12月)に比べて				前年同期(平成20年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成21年 4月～ 6月)の見通し			
	↗	↘	↖	D・I	↗	↘	↖	D・I	↗	↘	↖	D・I
A 売 上 (加 工) 額	19.3	28.1	52.6	-33.3	7.1	21.4	71.5	-64.4	14.5	36.4	49.1	-34.6
B 売 上 (加 工) 単 価	14.0	54.4	31.6	-17.6	1.8	73.2	25.0	-23.2	5.5	60.0	34.5	-29.0
C 売 上 (加 工) 数 量	14.3	28.6	57.1	-42.8	7.3	21.8	70.9	-63.6	13.0	42.6	44.4	-31.4
D 資 金 繰 り	5.4	51.7	42.9	-37.5	1.8	54.6	43.6	-41.8	5.7	52.8	41.5	-35.8
E 輸 出 額	0.0	71.4	28.6	-28.6					0.0	88.9	11.1	-11.1
F 原 材 料 仕 入 単 価	50.9	45.5	3.6	47.3					41.5	52.8	5.7	35.8
G 原 材 料 在 庫 数 量	3.8	77.0	19.2	-15.4					8.0	76.0	16.0	-8.0
H 製 品 在 庫 数 量	6.3	70.8	22.9	-16.6					8.7	67.4	23.9	-15.2
I 採 算 (経常利益)	7.1	33.9	59.0	-51.9					5.5	43.6	50.9	-45.4
J 従 業 員 (含臨時・パート)	8.9	75.0	16.1	-7.2					7.4	74.1	18.5	-11.1
K 外 部 人 材 (請負・派遣)	7.7	73.1	19.2	-11.5					3.8	73.1	23.1	-19.3
L 設 備 操 業 率	9.4	49.1	41.5	-32.1					7.8	56.9	35.3	-27.5
M 引 合 計	10.7	35.7	53.6	-42.9								
N 受 注 残	3.9	47.1	49.0	-45.1								
	10.5	36.8	52.7	-42.2	5.3	47.3	47.4	-42.1	5.9	47.0	47.1	-41.2
O 業 況 (自 社)	前年同期(平成20年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成20年10月～12月)に比べて				今 期(平成21年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成21年 4月～ 6月)の見通し			
P 受 取 手 形 期 間					0.0	97.6	2.4	-2.4	0.0	97.5	2.5	-2.5
Q 長 期 資 金 借 入 難 度					9.8	76.5	13.7	-3.9	5.9	76.5	17.6	-11.7
R 短 期 資 金 借 入 難 度 (含手形割引)					10.4	77.1	12.5	-2.1	8.2	75.5	16.3	-8.1
S 借 入 金 利					16.0	62.0	22.0	-6.0	14.0	78.0	8.0	6.0

↗ : 増加 ↗ : 上昇 ↗ : 好転 ↗ : 長期化 ↗ : 容易
 - : 不変 (A, C, E, G, H, J, K, M, N) - : 不変 (B, F, L, S) - : 不変 (D, I, O) - : 不 変 (P) - : 不変 (Q, R)
 ↘ : 減少 ↘ : 低下 ↘ : 悪化 ↘ : 短期化 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実 施 ・ 計 画 し て い る	実 施 ・ 計 画 し て い な い								
		土 地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	14.0	0.0	12.5	50.0	37.5	12.5	12.5	0.0	12.5	86.0
来 期	14.0	0.0	0.0	87.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	86.0

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	0.0	7.5
新規参入業者の増加	0.0	3.8
製品ニーズの変化への対応	1.9	15.1
生産設備の不足・老朽化	0.0	7.5
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	24.5	47.2
原材料の不足	0.0	0.0
人件費の増加	1.9	9.4
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.9	5.7
製品(加工)単価の低下・上昇難	11.3	50.9
金利負担の増加	0.0	3.8
取引条件の悪化	1.9	18.9
事業資金の借入難	1.9	5.7
従業員の確保難	3.8	5.7
熟練技術者の確保難	1.9	5.7
需要の停滞	49.0	71.7
そ の 他	0.0	0.0

2. 建設業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成21年 1月～ 3月)の水準			
	↗	↘	↗	D・I
業 況 (自 社)	10.3	25.0	64.7	-54.4
採 算 (経常利益)	13.2	39.7	47.1	-33.9
引 合 計	6.2	33.8	60.0	-53.8
従 業 員 (含臨時・パート)	20.6	72.0	7.4	13.2

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成20年10月～12月)に比べて				前年同期(平成20年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成21年 4月～ 6月)の見通し			
	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I	↗	↘	↗	D・I
A 完成工事(請負工事)額	11.6	18.8	69.6	-58.0	8.8	13.2	78.0	-69.2	7.2	33.3	59.5	-52.3
B 資 金 繰 り	1.5	54.4	44.1	-42.6	3.0	43.3	53.7	-50.7	1.5	50.0	48.5	-47.0
C 受注(新規契約工事)額	10.1	23.2	66.7	-56.6					7.2	34.8	58.0	-50.8
D 材 料 仕 入 単 価	54.4	35.3	10.3	44.1					37.3	49.3	13.4	23.9
E 採 算 (経常利益)	11.6	20.3	68.1	-56.5					5.8	39.1	55.1	-49.3
F 従業員(含臨時・パート)	5.8	66.7	27.5	-21.7					4.3	71.1	24.6	-20.3
G 外部人材(請負・派遣)	9.2	64.6	26.2	-17.0					3.1	73.8	23.1	-20.0
H 引 合 計	12.3	30.8	56.9	-44.6								
I 契約残(未消化工事高)	9.4	32.8	57.8	-48.4								
J 業 況 (自 社)	10.3	25.0	64.7	-54.4	5.9	35.3	58.8	-52.9	4.4	42.6	53.0	-48.6
K 受 取 手 形 期 間					8.2	87.7	4.1	4.1	10.2	87.8	2.0	8.2
L 長 期 資 金 借 入 難 度					8.1	69.3	22.6	-14.5	8.1	64.5	27.4	-19.3
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含手形割引)					6.8	72.9	20.3	-13.5	5.0	75.0	20.0	-15.0
N 借 入 金 利					13.1	80.3	6.6	6.5	9.8	86.9	3.3	6.5

↗ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, H, I)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (D, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (B, E, J)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不 変 (K)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	そ の 他	
今 期	10.1	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0	89.9
来 期	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	95.7

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	6.0	14.9
新規参入業者の増加	3.0	13.4
材料単価の上昇	1.5	16.4
材料の入手難	0.0	0.0
人件費の増加	1.5	9.0
材料費・人件費以外の経費の増加	3.0	10.4
請負単価の低下・上昇難	17.9	52.2
下請単価の上昇	3.0	4.5
金利負担の増加	0.0	1.5
取引条件の悪化	6.0	14.9
事業資金の借入難	4.5	13.4
従業員の確保難	0.0	1.5
熟練技術者の確保難	1.5	4.5
下請業者の確保難	1.5	1.5
官公需要の停滞	20.9	53.7
民間需要の停滞	29.7	68.7
そ の 他	0.0	1.5

3.卸売業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成21年 1月～ 3月)の水準			
	↗	↘	D・I	
業 況 (自 社)	0.0	36.4	63.6	-63.6
売 上 対 する 商 品 在 庫	16.9	75.3	7.8	9.1
採 算 (経 常 利 益)	7.8	53.2	39.0	-31.2
引 合	2.6	36.8	60.6	-58.0
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	9.5	85.1	5.4	4.1

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成20年10月～12月)に比べて				前年同期(平成20年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成21年 4月～ 6月)の見通し			
	↗	↘	D・I		↗	↘	D・I		↗	↘	D・I	
A 売 上 額	9.0	30.8	60.2	-51.2	3.9	23.7	72.4	-68.5	6.6	32.9	60.5	-53.9
B 売 上 単 価	17.9	51.3	30.8	-12.9	11.7	53.2	35.1	-23.4	11.7	46.7	41.6	-29.9
C 資 金 繰 り	0.0	74.4	25.6	-25.6	2.6	66.2	31.2	-28.6	0.0	68.8	31.2	-31.2
D 商 品 仕 入 単 価	34.6	37.2	28.2	6.4					28.6	37.6	33.8	-5.2
E 商 品 仕 入 数 量	9.0	32.1	58.9	-49.9					6.5	41.6	51.9	-45.4
F 商 品 在 庫 数 量	7.7	55.1	37.2	-29.5					5.2	58.4	36.4	-31.2
G 採 算 (経 常 利 益)	2.6	38.5	58.9	-56.3					3.9	40.8	55.3	-51.4
H 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	0.0	78.4	21.6	-21.6					0.0	84.9	15.1	-15.1
I 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	0.0	90.2	9.8	-9.8					0.0	88.2	11.8	-11.8
J 引 合	2.7	39.7	57.6	-54.9								
K 業 況 (自 社)	2.6	40.3	57.1	-54.5	1.3	40.8	57.9	-56.6	2.7	41.9	55.4	-52.7
									9.6	49.3	41.1	-31.5
L 受 取 手 形 期 間					3.1	96.9	0.0	3.1	0.0	100.0	0.0	0.0
M 長 期 資 金 借 入 難 度					4.2	77.5	18.3	-14.1	2.9	77.1	20.0	-17.1
N 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					5.6	84.5	9.9	-4.3	5.6	83.1	11.3	-5.7
O 借 入 金 利					6.9	63.9	29.2	-22.3	5.6	76.1	18.3	-12.7

↗ : 増加
 - : 不変 (A, E, F, H, I, J)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B, D, O)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (C, G, K)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不変 (L)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (M, N)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実 施・計 画 し て い る	実 施・計 画 し て い な い								
		土 地	店 舗	倉 庫	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	6.8	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	93.2
来 期	9.6	0.0	28.6	14.3	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	90.4

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	1.4	9.5
メ ー カ ー の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	1.4	6.8
小 売 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	2.7	10.8
新 規 参 入 業 者 の 増 加	1.4	4.1
店 舗・倉 庫 の 狭 隘・老 朽 化	1.4	8.1
商 品 在 庫 の 過 剰	4.1	6.8
人 件 費 の 増 加	1.4	2.7
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	2.7	9.5
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	14.9	52.7
仕 入 単 価 の 上 昇	2.7	25.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	8.1
代 金 回 収 の 悪 化	4.1	18.9
事 業 資 金 の 借 入 難	1.4	5.4
従 業 員 の 確 保 難	1.4	2.7
需 要 の 停 滞	57.6	77.0
そ の 他	1.4	4.1

4.小 売 業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成21年 1月～ 3月)の水準			
	↗	↘	D・I	
業 況 (自 社)	4.8	22.6	72.6	-67.8
売 上 に 対 す る 原 材 料 在 庫	21.4	60.7	17.9	3.5
採 算 (経 常 利 益)	2.4	40.5	57.1	-54.7
従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	7.6	83.5	8.9	-1.3

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふうふう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成20年10月～12月)に比べて				前年同期(平成20年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成21年 4月～ 6月)の見通し			
	↗	↘	D・I		↗	↘	D・I		↗	↘	D・I	
A 売 上 額	12.5	20.5	67.0	-54.5	4.6	21.8	73.6	-69.0	10.2	29.5	60.3	-50.1
B 客 単 価	8.0	33.0	59.0	-51.0	3.5	33.7	62.8	-59.3	8.0	36.8	55.2	-47.2
C 客 数	9.1	35.2	55.7	-46.6	3.5	34.9	61.6	-58.1	8.0	37.9	54.1	-46.1
D 資 金 繰 り	0.0	57.1	42.9	-42.9	0.0	52.4	47.6	-47.6	2.4	51.2	46.4	-44.0
E 商 品 仕 入 単 価	24.1	51.8	24.1	0.0					17.4	61.7	20.9	-3.5
F 商 品 仕 入 額	10.3	36.8	52.9	-42.6					9.3	39.5	51.2	-41.9
G 商 品 在 庫 数 量	5.7	56.4	37.9	-32.2					5.8	58.2	36.0	-30.2
H 採 算 (経 常 利 益)	5.7	31.8	62.5	-56.8					5.7	33.3	61.0	-55.3
I 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	0.0	80.2	19.8	-19.8					1.3	84.9	13.8	-12.5
J 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	0.0	89.8	10.2	-10.2					0.0	85.4	14.6	-14.6
K 業 況 (自 社)	8.0	30.7	61.3	-53.3	2.3	34.9	62.8	-60.5	7.1	36.5	56.4	-49.3
	前年同期(平成20年 1月～ 3月)に比べて				前期(平成20年10月～12月)に比べて				今 期(平成21年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成21年 4月～ 6月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					2.6	72.4	25.0	-22.4	4.1	78.1	17.8	-13.7
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					3.2	80.7	16.1	-12.9	3.3	86.9	9.8	-6.5
N 借 入 金 利					9.3	77.4	13.3	-4.0	8.2	83.6	8.2	0.0

↗ : 増加 ↗ : 上昇 ↗ : 好転 ↗ : 容易
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J) - : 不変 (B, E, N) - : 不変 (D, H, K) - : 不変 (L, M)
 ↘ : 減少 ↘ : 低下 ↘ : 悪化 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実 施 ・ 計 画 し て い る	実 施 ・ 計 画 し て い な い								
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両 ・ 運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	4.5	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	95.5
来 期	11.5	10.0	20.0	30.0	10.0	20.0	30.0	10.0	30.0	88.5

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大・中型店の進出による競争の激化	15.5	31.0
同業者の進出	4.8	8.3
購買力の他地域への流出	4.8	22.6
消費者ニーズの変化への対応	9.5	32.1
店舗の狭隘・老朽化	1.2	7.1
駐車場の確保難	2.4	10.7
商品在庫の過剰	0.0	3.6
人件費の増加	0.0	8.3
人件費以外の経費の増加	0.0	9.5
販売単価の低下・上昇難	11.9	38.1
仕入単価の上昇	2.4	10.7
金利負担の増加	0.0	3.6
代金回収の悪化	0.0	2.4
事業資金の借入難	1.2	9.5
従業員の確保難	2.4	3.6
需要の停滞	42.7	66.7
その他	1.2	6.0

5. サービス業

(1) 今期の水準

(単位：%)

区 分	今 期(平成21年 1月～ 3月)の水準			
	↗		↘	D・I
業 況 (自 社)	3.4	39.1	57.5	-54.1
採 算 (経 常 利 益)	9.2	44.8	46.0	-36.8
従 業 員 (含 臨 時 ・ ハ ー ト)	15.0	75.0	10.0	5.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成20年 1月～ 3月)に比べて				前 期(平成20年10月～12月)に比べて				前年同期(平成20年 1月～ 3月)と比べた 来 期(平成21年 4月～ 6月)の見通し			
	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I	↗		↘	D・I
A 売 上 (収 入) 額	5.6	31.1	63.3	-57.7	5.6	34.4	60.0	-54.4	6.7	30.0	63.3	-56.6
B 客 単 価	4.5	52.3	43.2	-38.7	0.0	59.1	40.9	-40.9	2.3	55.7	42.0	-39.7
C 利 用 客 数	5.8	38.4	55.8	-50.0	4.6	44.8	50.6	-46.0	5.7	35.6	58.7	-53.0
D 資 金 繰 り	3.7	52.4	43.9	-40.2	3.7	54.8	41.5	-37.8	4.9	48.8	46.3	-41.4
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	32.1	54.8	13.1	19.0					26.2	60.7	13.1	13.1
F 採 算 (経 常 利 益)	2.2	39.3	58.5	-56.3					3.4	38.2	58.4	-55.0
G 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	4.9	72.9	22.2	-17.3					6.3	74.9	18.8	-12.5
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	5.0	76.7	18.3	-13.3					1.7	82.8	15.5	-13.8
I 業 況 (自 社)	5.6	40.4	54.0	-48.4	4.8	40.5	54.7	-49.9	2.3	40.9	56.8	-54.5
									9.2	40.2	50.6	-41.4
L 長 期 資 金 借 入 難 度					6.3	58.3	35.4	-29.1	3.9	59.7	36.4	-32.5
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					4.2	62.0	33.8	-29.6	2.8	62.0	35.2	-32.4
N 借 入 金 利					10.8	71.6	17.6	-6.8	9.3	78.7	12.0	-2.7

↗ : 増加
 - : 不変 (A , C , G , H)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変 (B , E , N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変 (D , F , I)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 容易
 - : 不変 (L , M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位：%)

区 分	実 施 ・ 計 画 し て い る	実 施 ・ 計 画 し て い な い								
		土 地	建 物	サ ー ビ ス 設 備	車 両 ・ 運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	12.2	9.1	18.2	18.2	27.3	18.2	18.2	0.0	9.1	87.8
来 期	15.6	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	50.0	7.1	21.4	84.4

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位：%)

問 題 点	1 位	1～3位
大 企 業 の 進 出 に よ る 競 争 の 激 化	9.6	16.9
新 規 参 入 業 者 の 増 加	3.6	13.3
利 用 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	14.5	45.8
店 舗 施 設 の 狭 隘 ・ 老 朽 化	2.4	14.5
人 件 費 の 増 加	4.8	10.8
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	6.0	10.8
利 用 料 金 の 低 下 ・ 上 昇 難	7.2	31.3
材 料 等 仕 入 単 価 の 上 昇	2.4	26.5
金 利 負 担 の 増 加	0.0	4.8
事 業 資 金 の 借 入 難	7.2	16.9
従 業 員 の 確 保 難	0.0	6.0
熟 練 従 業 員 の 確 保 難	2.4	7.2
需 要 の 停 滞	37.5	63.9
そ の 他	2.4	6.0